



東京海上・為替参照利回り 変動型ファンド2011-04

愛称：グッド・チャンス2011-04

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（通貨） ／特殊型（条件付運用型） （課税上は株式投資信託として取扱われます。）
信託期間	2011年4月28日から2016年4月22日
運用方針	安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
主要投資対象	米ドル円為替レートの水準によってクーポンレートが決定されるしくみを持つ単一のユーロ円建債券を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額から、直前の分配金判定日の米ドル円為替レートの水準に応じて分配を行う方針です。</p> <p>ただし、分配対象額が少額の場合等には、目標とする収益分配金額の水準を下回ることはまたは収益分配を行わないことがあります。</p> <p>収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。</p>

第1期 運用報告書

（決算日 2011年10月24日）

投資家のみなさまへ

毎々格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「東京海上・為替参照利回り変動型ファンド2011-04 愛称：グッド・チャンス2011-04」は、2011年10月24日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント投信

東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビル

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク 0120-712-016

※土日祝日・年末年始を除く9時～17時

<http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	期中騰落			受利益 者回 り	債組 入比	券率	元本残存率
		税 分	込 配	み 金				
(設定日) 2011年4月28日	円 10,000			円 -		円 -	% -	% 100.0
1期(2011年10月24日)	9,279			86			△6.4	△12.9

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 受益者利回りは、分配金込みの基準価額の当初元本に対する年換算利回りです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	債組 入比	券率
5月末	9,930	△0.7	99.5	
6月末	9,897	△1.0	99.5	
7月末	9,852	△1.5	99.5	
8月末	9,497	△5.0	99.5	
9月末	9,420	△5.8	98.9	
(期末) 2011年10月24日	9,365	△6.4	99.9	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

当ファンドにはベンチマークはありません。また適当な参考指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。
ファンドは設定日(2011年4月28日)に受託銀行分の信託報酬(1万口当たり約5円)を控除しています。

■当期中の運用経過と今後の方針（2011年4月28日から2011年10月24日まで）

1. 基準価額の推移と主な変動要因

- ・ 設定時基準価額10,000円（信託報酬控除後9,995円）
 - ・ 当期末（2011年10月24日）基準価額9,279円（分配落ち後）
- 当ファンドに組み入れているユーロ円建債券の価格（期中に支払われたクーポンを含む）が下落したことを主因に、基準価額は下落しました。

2. 当期の投資環境

当期の米ドル円為替レートは、1米ドル＝82円程度（2011年4月28日）から1米ドル＝76円台前半（2011年10月24日）となりました。

5月は、積み上がった米ドル売りのポジション（持ち高）の解消（米ドルを買い戻す）などから世界的に米ドル高の傾向が強まり、一時円安米ドル高が進行しました。その後は米国雇用統計などの経済指標の予想外の悪化などを背景に、円高米ドル安で推移しました。

7月は、米国連邦政府債務の上限引き上げ問題などを背景とした米国価格下げやデフォルト（債務不履行）懸念の高まりから、円高米ドル安の傾向がさらに強まりました。

8月上旬には、日本の政府・日銀による為替介入を受けて一時円安米ドル高となりましたが、F R B（米連邦準備制度理事会）が緩和的な金融政策を長期間にわたって維持する姿勢を表明したことなどを背景に、再び円高米ドル安の傾向となりました。

10月下旬には、欧米経済への不安を主因にリスク回避姿勢が強まり、円相場は対米ドルで戦後最高値を更新しました。

3. 当期の運用経過と基準価額

当ファンドは、米ドル円為替レートの水準によってクーポンレートが決定される性格を持つユーロ円建債券の組み入れを高位に維持しました。

当ファンドの基準価額は設定日（2011年4月28日、信託報酬控除後）9,995円から当期末（2011年10月24日）9,279円（分配落ち後）となりました。

【収益分配金】

商品の仕組みに、収益分配金額は原則として直前の分配金判定日の米ドル円為替レートの水準に応じて決定します。

直前の分配金判定日である2011年9月20日の米ドル円為替レートは76.525円となり、分配基準レベルの76.262円に対して円安米ドル高となったため、当期については、1万口当たり86円（税引前）の収益分配を実施しました。

収益分配に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

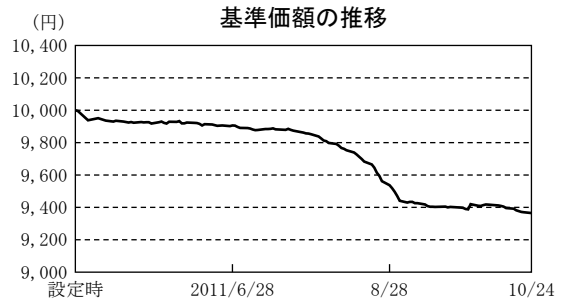
分配基準レベル	76.262円	1万口当たり 収益分配金	円安時	※86円
分配金判定日(9/20)の 米ドル円為替レート	76.525円		円高時	27円

※当期

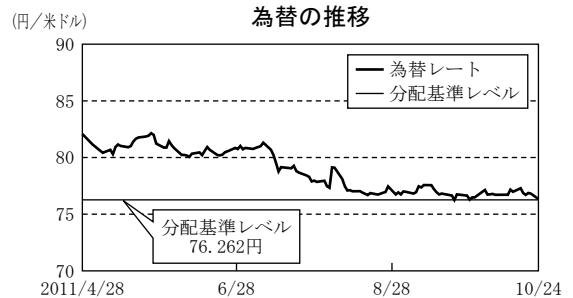
(注) 分配金判定日の米ドル円為替レートは、原則として午後3時（東京時間）においてロイター・ページ「JPNU」に表示されている米ドル円為替レートの仲値を利用しています。

4. 今後の運用方針

引き続き、設定当初に組み入れた、米ドル円為替レートの水準によってクーポンレートが決定される性格を持つユーロ円建債券を継続して保有し、当ファンドの償還時の元本確保を図りつつ安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。



(注) 期末の基準価額は、税引前分配金込みを表示しています。



出所：Thomson Datastream

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値（T T M）を記載しています。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投資信託会社) (販売会社) (受託銀行)	20円 (13) (2) (5)
(b) 保管費用等	0
合 計	20

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 1万口当たり元本 × 信託報酬率

受託銀行の信託報酬は、設定日に信託財産から総額を控除しています。

(b) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

■ 期中の売買及び取引の状況（2011年4月28日から2011年10月24日まで）

公社債

国 内	買 付 額	売 付 額
社債券（投資法人債券を含む）	千円 6,261,847	千円 6,041

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれていません）

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(注3) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

■ 利害関係人との取引状況等（2011年4月28日から2011年10月24日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細（2011年10月24日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			未			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	千円 6,258,480	千円 5,799,733	% 99.9	% —	% —	% 99.9	% —
	(6,258,480)	(5,799,733)	(99.9)	(—)	(—)	(99.9)	(—)
合 計	6,258,480	5,799,733	99.9	—	—	99.9	—
	(6,258,480)	(5,799,733)	(99.9)	(—)	(—)	(99.9)	(—)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) —印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 詳細開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	当 期			未
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	ロイヤルバンク・オブ・スコットランド・ビーエルシー 為替参照クーポン変動型債券 2016-04	% —	千円 6,258,480	千円 5,799,733	2016/4/7
合 計	—	—	6,258,480	5,799,733	—

(注1) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 利率は、米ドル円為替レートの水準によって決定されます。

(注3) 株式・新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

(2011年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	5,799,733	98.8 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	70,970	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	5,870,703	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2011年10月24日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,870,703,057円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	70,969,514
公 社 債(評価額)	5,799,733,416
未 収 利 息	127
(B) 負 債	63,544,883
未 払 収 益 分 配 金	53,822,886
未 払 信 託 報 酬	9,721,997
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,807,158,174
元 本	6,258,475,145
次 期 繰 越 損 益 金	△ 451,316,971
(D) 受 益 権 総 口 数	6,258,475,145口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9,279円

(注1) 当ファンドの設定日は2011年4月28日、設定元本額は6,264,975,145円、期末における元本残存率は99.8%です。

(注2) 当期末の1口当たり純資産額は0.9279円です。

(注3) 当期末の元本の欠損は451,316,971円です。

■損益の状況

当期(自2011年4月28日 至2011年10月24日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	70,966,851円
受 取 利 息	70,966,851
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 455,650
売 買 損	△ 455,650
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	△455,617,344
(D) 信 託 報 酬 等	△ 12,843,592
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	△397,949,735
(F) 解 約 差 損 益 金	455,650
(G) 計 (E+F)	△397,494,085
(H) 収 益 分 配 金	△ 53,822,886
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△451,316,971

(注1) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 計算期間末における当ファンドの配当等収益額(70,966,851円)から経費(12,843,592円)を控除した額(58,123,259円)に、期末の受益権口数(6,258,475,145口)を乗じて期中の平均受益権口数(6,264,975,145口)で除することにより分配可能額は58,062,955円(1万口当たり92円)であり、うち53,822,886円(1万口当たり86円)を分配金額としています。

■分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 込 み)	86円
源 泉 税	6円02銭
所 得 税	2円58銭
地 方 税	
源 泉 税 合 計	8円60銭
お 手 取 り 額	77円40銭
非 課 税 制 度 を ご 利 用 に な る 方 の お 手 取 り 額	86円

◇分配金は2011年10月28日(金)までにお支払いを開始しました。